

ソフト事業のみ  ハード事業を含む

## 成果指標設定調書

## 【成果指標の設定】

成果指標設定年度 令和7 年度

市町村名	蕨市			
提案事業名	日本一のコンパクトシティが健幸づくりの舞台 ～スマートウェルネスシティ推進事業～			
事業期間	令和7 年度	～	令和7 年度	
事業の必要性、目的	市では、全庁をあげて「スマートウェルネスシティ」を推進しており、令和6年度は、ウォーキングマップやアクションプランの策定（令和6年度ふるさと創造資金の採択事業）など、主に、今後の展開を見据えた土壌（下地）づくりに取り組んできた。こうした取組成果を踏まえ、市民がまちなかを舞台に健幸づくりを楽しむことができる環境整備を行う。			
成果指標	（成果を検証する指標） ウォーキングに取り組む市民			
	（成果検証の具体的な方法） コバトンALK00マイレージ登録者数			
	（上記の指標を設定した理由） 市民がまちなかで健幸づくりに取り組むことを目的とした事業であるため。			
	（成果の目標値）			
	現状値 （令和6年度）	1,663人	目標値 （令和8年度）	2,000人
	（施設建設等の場合）			
	年間利用者数（目標）（人）		稼働率（目標）（%）	
住民への公表方法及び特記事項				

## 【成果指標と構成事業の関連性】

令和7年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費（千円）
① 公園への健康遊具の設置	ハード ウォーキングコース付近の公園に、ストレッチや軽い運動に取り組める特徴のある健康遊具を設置し、市内の公園の循環も楽しみながら、全身を鍛えるとともに、ウォーキングを促進する。	5,000
② ウォーキングコースの道路標示	ハード ウォーキングコース上に、路面シートと案内標識を設置し、安全で歩いて楽しいウォーキングルートを市民に分かりやすいようにすることで、ウォーキングを促進する。また、路面シートは、蕨市マスコットキャラクターを用いるなど、市民に親しみをもってもらえるようなデザインにし、市のイメージアップにつなげる。	7,530
③ ウォーキングイベントの実施	ソフト 趣向を凝らした幅広い市民が参加できるウォーキングイベントを定期的開催し、ウォーキングに対する意識の拡大を図る。	845
④	ハード ソフト 間接補	
⑤	ハード ソフト 間接補	
合計		13,375

## 【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	公園への健康遊具の設置に当たっては、市民（町会や公園自主管理団体等）の要望を聞きながら、ニーズに沿った検討を進め、市民との協働により健幸づくりの環境を整備する。また、ウォーキングコースの道路標示やウォーキングイベントを行い、市民が安全で楽しくウォーキングに取り組める環境を整備する。
成果指標の達成見込み	ウォーキングコースの道路標示や、公園への健康遊具の設置など、市内全域で気軽に健幸づくりに取り組める環境を整備することで、市民の意識の拡大に一定の効果は図れるものと考えている。